

科名 血液内科
 対象疾患名 再発・難治性の多発性骨髄腫
 プロトコール名 ダラキューロDKd(週1回投与)1サイクル目

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	8	9	...	15	16	...	22	23	...	28
1	点滴注	メイン	5%ブドウ糖	250mL	ルートキープ 入れきり終了	↓												
2	点滴注	側管①	5%ブドウ糖	250mL	前投薬内服後 30分かけて	↓												
3	点滴注	側管②	カイプロリス 注射用水 5%ブドウ糖	20mg/m ² 20mL 100mL	30分かけて 投与開始1時間～30分前に 前投薬を内服	↓												
4	皮下注		ダラキューロ	15mL/body	1-3時間前までに前投薬服用 3-5分かけて	↓												
5	点滴注	メイン	5%ブドウ糖	500mL	ルートキープ 残破棄可				↓			↓						
6	点滴注	側管	カイプロリス 注射用水 5%ブドウ糖	70mg/m ² 20mL 100mL	30分かけて 投与開始1時間～30分前に 前投薬を内服				↓			↓						
7	皮下注		ダラキューロ	15mL/body	1-3時間前までに前投薬服用 3-5分かけて				↓			↓				↓		
	経口		デキサメサゾン	20mg	前投薬 MEMO欄参照	↓			↓			↓				↓		
	経口		デキサメサゾン	20mg	朝食後				↓			↓				↓		

★1クール=28日

～MEMO～

催吐リスク2(10%以上30%未満)

・前投薬はデキサメサゾン、アセトアミノフェン、ポララミンをday1,8,15はカイプロリス投与30分前までに服用する。day22はダラキューロ投与1-3時間前に服用する。

〈デキサメサゾン〉

・infusion reaction軽減のためday1,8,15はカイプロリス投与の30分前に20mgを服用する。day22はダラキューロ投与の1-3時間前に20mgを服用する。day2,9,16,23は朝食後に20mgを服用する。

・通常量は40mg/週。76歳以上や過少体重(BMI18.5kg/m²未満)患者には20mg/週でも可。また有害事象などにより減量を考慮。

〈カイプロリス〉

・妊婦・妊娠の可能性のある患者には禁忌

・急速静脈内投与は行わないこと。

・腫瘍崩壊症候群の予防のためday1のカイプロリス投与前に250mLの補液を行う。また高尿酸血症治療薬を投与する。day8以降はリスクに応じて補液を検討する。

・体表面積が2.2m²を超える患者では、体表面積を2.2m²として投与量を算出。

〈ダラキューロ〉

・初回投与前に不規則抗体の測定を行うこと

・慢性閉塞性肺疾患若しくは気管支喘息のある患者又はそれらの既往歴のある患者には、本剤の投与後処置として気管支拡張薬及び吸入ステロイド薬の投与を考慮。

・遅発性のinfusion reactionを軽減するためダラキューロ投与翌日にデキサメサゾン服用する。